

前回の例会記録

2010.3.3(水)通算2532回 本年度第32回 12時30分～釧路プリンスホテル

お客様と来訪ロータリアン

メーカーアップ

3 / 2 松原久幸君 (釧路東 RC)

出席報告 [会員総数67名 免除12名 出席計算に用いた会員数55名]

本日の出席率 出席またはメーカーアップした会員数 40名 出席率72.7%

ニコニコ献金(今年度累計 693,000円)

- ・平田さん、大谷さん宜しくお願ひします ~ 中嶋嘉昭君、萩原昭博君、布目九一君
- ・先月はケーキありがとうございました。今日は人形供養でした。たくさんのお参りありがとうございました ~ 菊池美恵子様
- ・春よ来い ~ 松田信明君

会長挨拶

先週のひな祭り例会の盛会にあたり、高橋貢委員長はじめ親睦家族委員会の皆様、会員の皆様のおもてなしに感謝申し上げます。

17日間のバンクーバーオリンピックが閉幕しました。振り返ってみた総評や問題点、課題については、足立パストガバナーの「心技体」の記事で、成程という事ですから次開催に期待をしたいと思います。私は、テレビのワイドショーで取り上げていた「メダルとカネ」について考えてみました。中味は今回のオリンピックに各国がどれだけのお金をかけて強化対策や環境整備などの準備をして臨んできたかという事であります。

日本とメダル多数獲得国との選手数、役員数、強化資金などを取り上げ比較しておりました。日本は選手役員数が大勢参加しておりましたが、日頃からのお金のかけ方が非常に少なかったとの事です。

確かに素晴らしい素質のある選手であっても、日頃のトレーニングや努力がなければ頂点に立つことは大変難しい事は周知の事であります。しかし、資金力を背景に国家規模の強化戦略によって、一年間カナダ現地でトレーニングに集中して、金メダルを獲得した成果は賞賛に値します。敬意を表しますが、諸手を挙げてとはならないのは何なのか。お金の力や科学の力でメダルが取れるのか、と斜めに見てしまう寂しさでしょうか、素人の悲哀でしょうか。とは考えたものの、その様な邪念など吹き飛ばす話が沢山ありました。今回出場した選手一人ひとりの、それぞれの人生の物語やエピソード、オリンピックに懸ける想いを見聞きして、胸が詰まり思いも致しました。技術、演技、演出の素晴らしさは、夫々の想いの集大成であったのだろうと思ひ起こしておりました。

幹事報告

- ・各クラブよりプログラムと会報が届いていますので回覧致します。
- ・坂本新世代育成基金の褒賞金の申請は本日をもって締め切ります。
- ・小林秀昭会員が今月23日で青森に転勤が決まりました。
- ・IMのプログラムですが、登録受付が13時30分から14時です。15時40分から17時まで「私にとっての職業奉仕」ということで、各クラブ代表者による発表が1人3分の持ち時間にて行われ、当クラブは百枝会員が発表致します。18時10分より懇親会「友情の宴」があり、各クラブ選出による仮装カラオケ大会が開催され、当クラブは「中嶋嘉昭とゆかいな仲間達」で申し込みをしておりますのでご期待下さい。

委員会報告

本日のプログラム

「 新入会員卓話 」

担当 プログラム委員会

